

びえい未来トーク

開催日：令和6年12月9日（月）午後6時30分～8時30分

会場：ホテルラヴニール研修室

参加団体：町カフェ

テーマ：オーバーツーリズム問題など

司会進行：町カフェ

1. 開会

私たちは、喫茶店「北公房」でよく集まり、町のことなどについて話しているメンバーです。今日は観光や農業などを中心にお話しさせていただきたい。

2. 角和町長あいさつ

びえい未来トークは町民の皆さんと率直な意見が交わしたいという思いで実施している。生活している実感の中で思っていることをぜひお話しいただき、将来の美瑛町につながっていけば幸い。

3. トーク

問

先日の駐車場利用税・宿泊税の町民説明会で、観光客や来訪者需要のために町が負担している経費として7億8千万円という数字が突然出てきたことに違和感がある。改めて税の導入の経緯などについて聞かせていただきたい。

角和町長

現在、宿泊税と駐車場利用税の導入を検討しているところ。

経緯としては、約5年前に宿泊税の導入を検討したところから始まった。オーバーツーリズム対策含め観光振興に充てるという形で検討していたがコロナの影響で議論を中断。コロナがある程度落ち着いたタイミングで役場職員や町民交えて検討会を再開した。

新しく税を導入するにあたり総務省に相談したところ、専門家を入れるよう指導をいただいたことから税制の専門家（神奈川大）を検討会に招いた。その検討会で、コロナ前には200万人を超えていた観光客に対し美瑛町がいくら使っているか計算するべきとの意見があり、そこで出た数字が7億8千万円という数字。内訳としては水道や電気、道路などの費用で、あくまで概算であり厳密に算出した数字というわけではない。

極端な話をすれば、観光客が1人も来なかったらその7億8千万は町民に使えるということ。美瑛町にとって大きな財源である地方交付税は、都市と地方で格差を解消することを目的に算定されるが、観光客がどれだけ来るかは算定根拠に入っていない。そこで検討会では7億8千万円は原因者である観光客からとるのが正統だろうという話になった。

宿泊税の導入については特に宿泊事業者から「宿泊者だけから税をとるのは不公平」「通過型観光が多いことで知られているのだからそこからとるべき」という意見が挙がった。入域した全員から徴収できればよいのはもちろんで、道路にゲートを作る案なども検討したが、技術的・法的に難しいとわかった。そこで、来町者全員というわけではないが多くの人が訪れる青い池の駐車場で税金を取るといった形に行きついた。

税をとるためには条例が必要であり、現在はその条文について議論をしている。

問

7億8千万円は検討会で初めて出た数字といたが、それまでは町としてそのような数字は持っていなかったのか。そのような数字を知らずに観光振興に取り組んできたということか。

角和町長

7億8千万という数字を出すためのデータは持ち合わせていた。算定自体は元から可能だったが、今回必要性が出たため初めて算定を行いこの数字が出てきた。

それまで「観光客だけに対してどうか」という計算は特にされておらず、過去には観光による経済効果約60億円という試算もあったが根拠は不明である。観光業については正確な数字が出しにくいというところから細かい計算をしてきていない経緯がある。

問

角和町長が就任する前はデータを見ずに観光振興を進めていたということか。

町長

2～3年前に産業関連表を作成したのもデータを把握したいという思いがあった。

問

役場の「お金をどう使っていくのか」という意識を聞きたい。特に角和町長就任以前の話が知りたい。

町長

産業面のデータが確かに弱かったので、そのデータを集めるところから始まった。

役場のお金自体は議会に予算の承認を得てひとつひとつの事業の成果を確認しながら使用しているため「役場としてのお金の使い方」というところに問題はないと考えている。

意見

拓真館ができたとき大勢の人が来るようになり、千代田小のトイレを使うのではなく外

にトイレを設置しようという動きがあった。その当時からオーバーツーリズムというのは出てきていたと思う。

個人的に見てきた限り、海外では有料トイレが基本だが、町内で有料トイレを作る動きはない。そのように何もしていなかったというところに突然7億8千万という数字を出してきたことに疑問がある。

問

宿泊税や駐車場利用税を取るとなった時の用途は？

角和町長

法定外普通税になる。よく聞く法定外目的税は用途を明確にして取る税。

観光振興以外にも使える普通税として取る理由は、本来町民に使われるべきお金を観光客に使っているという考え方から。

ただ、細かい用途や徴収することの是非を含めて議論中であり、多く観光分野にも使用することも考えられる。

問

オーバーツーリズムという問題もある中で観光振興に使うのか？

町長

観光分野に使うというのはオーバーツーリズム対策。宿泊事業者への負担軽減などさまざまな形で使う。

問

畑への侵入など農業者等にとってのオーバーツーリズム問題にはめどが立ったということか？

角和町長

農業と観光の関係は悪いことばかりではなく、農業者からも観光客はありがたい面もあるという声を聴くこともある。ただ、観光客が農作業の支障になるという実態もあるので、より農業者の理解を得られるように進めていきたい。

問

「観光客が支障になる」というところにダイレクトに対策は打てないのか。

例えば美馬牛のクリスマスツリーの木などは事故の危険性があり危ないという話が目の前にあるのに、お金の話だけがポンと出てきた印象がある。具体的な対策というものが出来

きていない。

角和町長

どのような対策にお金を割くべきかというところまでは議論は発展していない。

問

クリスマスツリーの木に関連して、聞いた話で「警備員の配置や駐車場設置など対策を取る予定とニュースになった際、土地の所有者がそのニュースを見て初めてそのような案が挙がっているのを知った」という事があったと伺った。

役場と町民との間でコミュニケーションが不足しているのではないか。土地の所有者が知らずにニュースになるということがあるか。そのようなコミュニケーション不足がいろいろなところに影響が出てくるのではないか。

角和町長

クリスマスツリーの木に関しては所有者とコミュニケーションを取り対策を講じている。

問

宿泊税の説明会で、商工課高島課長がツリーの場所に駐車場を作るという話をされていた。すぐにでも対策しないといずれ人身事故が起こるような状態。一方通行を心掛けるようお願いするという話もあったが不十分ではないか。

角和町長

ツリーの対策として、1つは監視カメラによる立ち入り対策を取っている。

渋滞対策については、今年セブンスターの木周辺で旭川東警察署に協力いただき行った周辺警備や駐車禁止措置をツリーにも適用できないか検討している。

これまでは法的に駐車禁止ではなかったので「お願い」にとどまらざるを得なかったが、警察に協力いただければ強く対策することができる。

駐車場があってそこから歩いて見に行くという案も考えられるが、どのような形がベストかは検討が必要。

それ以上の対策となると通行止めということになる。

観光協会でも、美馬牛駅周辺でバス駐車を控えるようお願いしたりと動いている。

問

観光協会のホームページにツリーの見学の仕方というものが出ていた。実際現地に行ってみたが、見学の仕方は守られていなかったというか、守れるような状況ではなかった。

バスは停車していて（乗降のみの停車ということではあったが長時間かかる）、その時は

1 台車が路肩に落ちていたのでその対応もあり、大渋滞になっていた。

あの「見学の仕方」を作った方は実際に現地の状況を見たのか。地域にお住まいの方は「今の時期はあそこは通ってはいけない」と言っていた。片側駐車場の P（駐車場）の標識も出ていたが全く駐車場所が守られていなかった。

意見

P の看板は観光協会でつけたもの。

ツリーはすばらしい観光資源で、町全体で話し合っていくのが重要だと考えている。今年は昨年と比べても渋滞ができるのが早く、視察などで渋滞の様子を見ていただくと「これはすごいね」といわれる。観光によってどのような被害を被っているのかを数値化してほしく、危機感を持って対応してほしい。

意見

あそこで観光バスを止めようというのが間違っているのでは。

新栄は駐車場があるがトイレが使えない。三愛などは冬にトイレが使えない。駐車場がありトイレがあり風景がきれいな場所がことごとく冬に使えない。そこを使えるようにして観光客のひとか所集中を分散させてはどうか。

駅に作ったバス駐車場もほとんど使われている印象がなく、道の真ん中で写真を撮ったりしている人がある。バス会社に強く要求できないのか。

問

一日何十台もバスが来ても、一番儲けているのは札幌のバス会社。

青い池の駐車場に税金を乗せるといふ話の前に、バス業者や旅行業者に請求すべき。今はいわばタダ同然で見て回っているような状態。

町長

何を根拠に請求するかという問題がある。

韓国の旅行会社とそのような話をしたこともあるが、お金の面では難しいがさまざまな協力はできるという回答だった。

入域税として取れないかという検討はしたが、無料の道路を通過する車からは法的に取れない。国外ではカメラで記録したナンバープレートからお金を取るという仕組みがあるが日本ではできない。例えば安芸の宮島や石垣島などでは島に入るタイミングで税金をとれるが、美瑛の場合どこの道路から町に入ってくるかはわからない。

意見

学者に来てもらって出てきた結論が駐車場税と宿泊税というのが納得いかない。清里町

では入域者から料金を取れているという話を聞いた。

問

税以外の形では取れないのか。青い池の駐車料金など税にこだわっていないものは既にある。

角和町長

たとえばツリーに来た人から利用料金を取るということは可能ではあるが根拠がない。もちろん取れたほうがいいというのは間違いない。

問

もっとメディアを活用して広く意見を求めては。いっそ炎上するくらいに盛り上がったほうが結果的にはいい方向に動くのではないか。

角和町長

困っていることを発信するのは重要だが、発信の仕方次第で大きく変わるため戦略的に進めていきたい。

意見

私は美瑛で生まれ育ったが本当に景色が素晴らしいと思う

かつて、役場は道路ばかり作っているという批判もあったが、そのおかげで今があると思う。

観光客も素晴らしい景色を見たのだったら500円くらい出してくれる。美瑛で素晴らしいものを見たということへの感謝としてきっと出してくれると思う。なんとか方法はいいのか、温かい気持ちで盛り上げてほしい。

問

町内のトイレの有料化はできないか。

角和町長

観光課で検討中。

問

来訪者全体の1割しか宿泊していないというのは事実としてある。であれば、バスで来てそのまま帰ってくる人よりも、宿泊のお客さんのほうを優遇したいという気持ちがある。

宿泊してくれるお客さんを増やすにはどうしたらよいか

角和町長

通過型観光の解消については取り組んできているところ。それ以外では例えば、夜や朝のコンテンツを作るという考え方がある。

問

コンテンツとなるとそこにコストがかかる。

裕福な客層は静かな自然の多い場所を好む傾向もあるのではないか。にぎやかにするという方向以外にも方策を模索していくべきでは。

角和町長

オーバーツーリズム問題がある一方で、宿泊施設にとってはベッド数が足りないという問題もある。観光客に人気がありそうな、自然が多く景観のいい場所に宿泊施設をとると、多くは農地なので難しい面もあるが、具体的に進んでいる話もある。

問

宿泊税は、民泊からもとるという話。

いつの間にかアパートが民泊になっていて驚くことがある。治安上の不安もあるので見ただ目で民泊がわかるように表示してほしい。町で登録制度などを作り管理してほしい。

回答

民泊は道が管轄している。登録された民泊の情報なども道から提供されている状態なので、町が把握しきれていない民泊ができていたというケースも考えられる。

意見

それは普通のペンションなどからは宿泊税を取り切れるが、民泊からは取り切れないということになるのではないか。美瑛町に民泊を登録させるという決まりは作れないか。制度を作ればいいのでは。

意見

可能であれば、宿の登録＝観光協会への入会としてほしい。治安のためにもぜひ。

意見

バスの話に戻るが、バスの本数を制限するということはできないか。富士山では制限があるので先行事例がないわけではない。

意見

以前は名所をゆっくり通過しながら観光していたが、最近はしっかり駐車するのでバスだらけな印象になっている。美瑛の良さは自然の豊かさや静かさだと思うので、バスの本数を制限できないか。

オーバーツーリズムの主たる原因はバスではないか。道路の真ん中で自転車で走っているなどの交通マナー違反も迷惑ではあるが、今はバス対策が急務ではないか。

問

町としては観光客を増やしたいのか、減らしたいのか。

角和町長

今は観光客を増やそうということはしていない。持続可能な観光目的地実現のため条例を制定し動いている。

迷惑行為などをせず美瑛を楽しんでもらえる方に来てほしい。観光バスを制限できるかは先行事例をより調べていきたい。パークアンドライドという形も考えたが、駐車場確保などの課題がある。

意見

例えば日本のお城に入るにはお金がかかる。観光施設の維持費を負担してもらっているという形。城という具体的な観光資源ではないが、地域という観光資源に対して負担してもらおうという考え方をすれば折り合いがつくのでは。

意見

クリスマスツリーのところはやはりバスが問題。問題が解決するまでは、防風対策などを名目にネットで囲ったりしてはどうか。

SNS などを見ると、ほとんどは風景を純粹に楽しむ写真ではなく、人と風景の写真を撮りに来ている。町営スキー場などだれでも行ける場所に名所を設けては。

町長

例えば過去に哲学の木の伐採などもあったが、観光客入れ込み数は減るところか増えている。たとえ今の名所がなくなっても次の場所が自然と出てくることが考えられる。

自由に立ち入りできる名所を作るという話は、雑談程度ではあるがここ最近上がっていたところ。

問

テレビで美瑛を紹介する番組をいくつか見たが、番組によって紹介の仕方が対照的。やわ

らかい雰囲気伝えるものもあれば、美瑛をスポーツカーで走るといったような内容のものもあった。町の取材やメディア受け入れの体制はどうなっているか

角和町長

メディアの対応は観光協会ですべて受け付けており、ロケの手伝いなどもしているが、必ずしもすべて把握しきれないわけではない。

問

テレビの影響力は大きく、美瑛町が伝えたいイメージと差異が大きいと問題になるのではないかと。

上川町がアウトドアブランドのコロンビアと協力して2分程度の短い番組を放映していた。私としてはすごい好印象を持ったし、上川町に移住してもいいかなと思えるような内容。そのような番組を見て、このような宣伝方法もあるんだと勉強してほしい。

テレビ番組の制作にあたっては町を通してもらうようにしては。

角和町長

引き続き観光協会ですべて対応するための体制を整備していく。

問

今日はかなり観光の話題に時間を割いてしまった。観光の問題が頭を占めているという現れでもあるが、それ以外にもいろいろ課題がある。

町民とのコミュニケーションという部分で過去の未来トークを公開しているか。

角和町長

以前は要約を公開していたが近々のものは公開していないかもしれない。

問

自治基本条例などで「町民が主役」という言葉があるが、どのような状態を指すのか。掛け声としてはいいと思うが、実態としてどのような状態を指すのか。

角和町長

町民にとっては、一人一人が思ったことが実現しやすいという状況。行政にも限界はあるができる限り対応していく。

町民の皆さん自らが街づくりに携わっていきやすい状況も必要。考えていること感じていることを聞き取る機会、システムがあるかどうかということ。この未来トークもそのような機会の一つ。

問

未来トーク以外のものや、以上のものはあるか。

角和町長

町民提案事業や町長メール、ご意見箱を受け付けている。

問

11 / 22に自治基本条例の審議会があったが、町民のまちづくりへの参加率についてはどのような意見があったか。

新村課長

町民の参加率について具体的な話は出ていないが、より町民に参加してもらうためにはという意見をいただいた。ホームページで議事録等が公開されている。

問

そのような会もいいが、もっと肩の力が抜けたような会が持続的にあるという状況が重要ではないか。

角和町長

この未来トークも初めて年数がたつが、だんだん申請いただく団体も固定化されてきており形式化することへの危惧はあった。もっといい形がないか、もっと率直に意見公開できる場が設けられないか考えている。

意見

町民提案事業で「地域懇談会」を提案したが、そのような形はどうか。地区の会館や美丘ホールで集まって、懇談会ができないか。

来てくれる人来ない人が固定されるという問題はあるかもしれないが、役場内の人だけで考えるよりもいろんな人たちが集まって話したほうが良いのでは。

意見

町民と役場とのコミュニケーションづくりは重要。役場から地区に出向く場を設けてはという意見がこの会でもよく出ていた。

町長や管理職だけでなくいろいろな職員に来てほしい。例えばJAなどでそのような会を設けている。役場職員が町民と一緒に対話する場を設けていっては。

意見

これから先どうするかということや、問題点を語らう、というのが町民の参加意識になっていく。

町は首長によって変わる。選挙で民意を得たといえばそうだが、町長がコロコロ変わるような状況では何も生まれないし、日本全体の状況を見てもそんな余裕はない。美瑛町としてどんな方針を持っているか。

多くの町民が参加して方針を形作っていただけたいのでは。総合計画も町民の何%が参加したかわからず、形としては町民主体の街づくりにはなっているが実態としてどうか疑問が残る。

問

最後に、町長は政治について参考になっている人物や主義などはあるか。

角和町長

特にこれという政治信条があるわけではないが、トップダウンではなく、役場であれば職員から、町であれば町民からという形になるように意識している。

閉会

(午後8時30分終了)